

## 令和4年度第1回学校関係者評価委員会報告 (及び信頼される学校づくりのための委員会)

- 1 開催日時  
令和4年7月8日(金) 14:00~15:30
  - 2 場所  
本校会議室
  - 3 参加者  
山口 浩平(P T A会長) 森田 剛(同窓会会長) 川原 啓司(川辺中学校長)  
菊野 竜一郎(菊野病院長) 飯伏 志穂子(元P T A副会長)  
有馬 紅実(南九州警察署川辺交番)  
前田(校長) 横山(教頭) 前田(事務長) 永長(教務主任)  
寺田(進路指導部主任) 高山(生徒指導部主任)
  - 4 内容
    - (1) 学校長挨拶
    - (2) 参加者自己紹介
    - (3) 学校の経営方針  
校長より「教育目標」「努力目標」等の説明があった。
    - (4) 学校の概況説明  
各部主任より、基本方針、年間計画及び関連する行事について説明があった。
    - (5) 協議1「学校活性化に向けて」  
教頭より、「学校活性化対策協議会ワーキンググループ」のこれまでの取り組みについて報告を行った後に、各委員より意見があった。
      - A 昨年度もワーキンググループが学校活性化に向けた取り組みを行ってくれた。辺高生も素直で積極的に取り組んでくれた。伝統なのか1年生が大人しめであるが、これも伝統なのか3年間で変わってくるのが辺高生。ボランティア活動等積極性が出てくるようである。「夢を持たせる」役割が我々にはあると思う。
      - A サイエンス部による出前授業など行っているが、地域との関わりを強く持って、学校の魅力をどんどん発信してもらいたい。また、地域外の方の話しを聞くことで、地元の魅力の再確認にもなったり、海外で活躍したいと思うきっかけにもなるのではと思う。
- |        |   |
|--------|---|
| 校長     | 3年前から「職の魅力発見プロジェクト」で県内の様々な方面で活躍されている方に講話をしてもらい、地元で働く魅力について生徒は話を聞く機会がある。 |
| 教頭     | 学校活性化対策協議会ワーキンググループでも南九州市役所でのインターンシップなどを検討している。                         |
| 生徒指導主任 | ここ数年、直接南九州市役所に就職する生徒はいないが、大学等で学んだ後、市役所など地元で働きたいという生徒はいる。                |
| 校長     | 制服について、今年度見直しの年になっている。昨今のL G B T Qの対応も含めて、ブレザーに変更する学校も増えているが、みな         |

- さんの御意見をお聞かせ願いたい。
- B 中学校に在学中は特に申し出はなかった生徒が，高校入学に伴う制服採寸をする際にスカートではなくスラックスをはきたいという相談をした生徒がいるようである。近隣の金峰学園はスラックスも導入しているが，寒さ対策でスラックスをはく生徒が多いと聞いている。
- A 「男子はこれ，女子はこれ」といった指定はできなくなりつつある。「Aタイプ，Bタイプ」のように選べるようにした方が良い。
- C 周りの目はあまり気にせず，学校とその生徒が良ければそれでいいのではないかと思う。制服に伝統はあるが，時代に合わせていくことも必要だと思う。
- 生徒指導主任 全国的にブレザーの制服が増え，費用面でもブレザーの方が安くなっている。そこも含めて今後検討したい。

#### (6) 協議2「信頼される学校づくりについて」

- C 尚学舎の利用が放課後できなくなったと聞いたがどうなのか。  
進路指導主任 以前は，20時や21時までといった利用もあったが，部活動の時間に合わせた利用にしようと言うことで，現在（夏時間）は19時までの利用としている。
- D 今年度，目玉の生徒（難関校を受験できる生徒）はいるのか。  
進路指導主任 昨年，熊大はおりましたが，ここ数年医学部の医学科を目指す生徒が出ていない。もう一踏ん張りというところで，チャレンジしきれていない。浪人覚悟でチャレンジする生徒もなかなかいないのが現状である。
- 校長 3月に卒業した生徒の中で，予備校に通っている卒業生が一人いて，その予備校の校長から，「川辺から来た生徒が朝早くから来て頑張っている。」という話も伺っている。目標が定まれば，一直線という生徒だったので，期待したい。今年度は4年制大学の医学部の看護学科や作業療法学科などの希望者が多い。お互いに，切磋琢磨して最後まで頑張ってもらいたい。

#### 7 その他

次回の開催は11月中旬の予定

#### 8 閉会のことば

(15:30)